

令和8年3月
第174号

ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、ヨコレイひまわり発電所です。

桜のつぼみもほころび、春本番となりました。それでは
今月も、ひまわり通信にお付き合ください。

ホルムズ海峡封鎖によるエネルギー供給への影響

米国・イスラエルによる軍事攻撃への対抗措置として、イランは日本が輸入する原油の約8~9割が通過するホルムズ海峡を封鎖しました。日本の一次エネルギーの約4割を占める石油は、単なる燃料にとどまらず、プラスチック、合成繊維、医療用品、不織布、包装材などを作るのに不可欠な素材です。日本は原料となるナフサの約6割を輸入に頼り、そのうち約7割を中東に依存しているため、この封鎖は日本の製造業の根幹を揺るがす事態となっています。こうした中、日米首脳会談では「アラスカ産原油の共同備蓄」が合意されました。しかし、これが即座に解決策とはなりません。その背景には、2つの構造的問題があります。

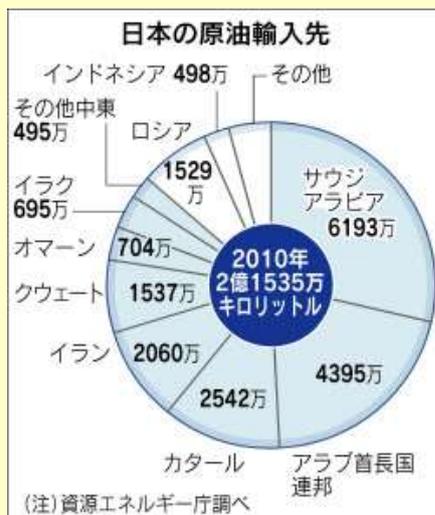
1. 精製設備のミスマッチ

アラスカ産原油は、現在日本が主力としている中東産に比べて「硫黄分」が少ないという特徴があります。日本の精製工場（製油所）は、不純物が多い中東産を効率よく処理するように設計・最適化されており、性質の違うアラスカ産をそのまま大量に投入すると、かえって生産効率が落ちるといふ「設備のミスマッチ」が起こります。

2. 供給量の限界

アラスカの原油生産量は日量約42万バレルで、その大半は米西海岸の需要で占められています。2026年の増産予測（前年比1.6万バレル）を仮に全量日本へ振り向けたとしても、日本の原油輸入量（日量約230万バレル）の1%にも満たないのが現実です。期待される新プロジェクトの本格稼働も2029年以降となる見通しであり、現在進行形の危機に対しては、供給量・スピードともに即効性を持ち得ないのが実情です。

イランのアラグチ外相（元駐日大使）は、日本船舶の通過を認める用意がある旨を表明し、既に中国やインドなどは船舶通過に成功しています。一方、日本政府は3月24日、国内供給を維持するための緊急措置として国家備蓄から30日分を3月26日より放出すると表明しましたが、イランとの個別交渉については否定しています。



日米首脳会談におけるエネルギー投資合意と国内産業への影響

高市首相は3月20日の日米首脳会談において、米国への第2弾となる投融資に合意しました。今回の合意内容は、米国における次世代原発（小型モジュール炉：SMR）およびガス火力発電所2基の建設支援を柱としています。日本の出資額は730億ドル（約11兆5,000億円）にのぼります。前政権下で合意された第1弾の対米投融資（5,500億ドル／約86兆円）と合わせると、累計額は約97兆5,000億円となります。この累計投資額は、日本の年間国家予算（一般会計当初予算：約115兆円）の約85%に相当する規模です。投資先は米国内のインフラ整備が主であり、利益配分については米国側が90%を確保する枠組みとなっています。一方で、国内に目を向けると、社会保険料の引き上げ等に伴い、所得に占める税金や社会保険料の割合を示す「国民負担率」は46.7%に達しています。国民生活への負担が増す中、巨額の海外投資の意義と還元策について、今後さらなる議論を呼ぶことが予想されます。

『茶樹の会』の活動に参加しました

1月29日（木）、近隣の新井小学校3年生の皆さんと『茶樹の会』の活動に参加しました。当日は、落ち葉掻きや堆肥作り、4～5月の茶葉収穫に向けた『寒肥（かんごえ）』のほか、七輪体験も行われました。新井町では明治7年から昭和初期まで、地場産業として茶の栽培が盛んに行われていた歴史があります。戦時中の自給率の向上により、その多くはサツマイモや麦の畑へと姿を変え、現在は新井町公園の一角にわずかな茶樹が残るのみとなりました。現在は『茶樹の会』の皆さんがこの貴重な茶樹を守り続けており、当社も2025年9月から活動に加わっています。今後も地域の方々と共にこの歴史ある茶畑の維持保存に貢献してまいります。



Instagramを始めました！

2025年12月11日（木）、Instagramにヨコレイ公式アカウントを開設いたしました。日々の仕事風景やちょっとした出来事、イベント、活動の様子などを、写真とともに皆様へお届けしてまいります。投稿を通じて少しでも当社の雰囲気を感じていただければ嬉しいです。皆様からのフォロー・いいねをお待ちしております！

【アカウント名】 yokoray_official

【URL】

https://www.instagram.com/yokoray_official/

このアイコンが
目印です！→



☀ヨコレイ太陽光発電 先月の実績☀

（期間：2/2～3/1） ※（ ）内は先々月の実績

- 発電した電気量 : 707.2 kWh ↑
(707.2 kWh)
- 東電への売電量 : 203.0 kWh ↑
(203.0 kWh)
- 売電金額 : 1,725 円 ↑
(1,725 円)

■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

※（ ）内は前月の数値

日照時間：237.3 時間 (237.3 時間) ↑
平均最高気温： 10.8 °C (10.8 °C) ↓



Follow Me/
はじめました

Instagram

@yokoray_official

@YOKORAY_OFFICIAL

(株)ヨコレイ 法人向け太陽光発電

ひまわり発電所

<https://yokoray.co.jp/himawari>

☎ 0120-37-4501

(受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く)

※本紙の配信停止をご希望の方は、ご連絡ください※

